

地域再生計画 事後評価結果

地域再生計画の名称	「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」の創造										
地域再生計画の作成主体の名称	宇治市			計画期間			平成17～21年度				
地域再生計画の区域	宇治市の全域										
計画概要	本市は、高級日本茶の代名詞「宇治茶」の産地として有名で、宇治川の清流や山々の緑など豊かな自然環境を有しているが、都市化の進行によりこうした自然環境の悪化が指摘されている。そこで、公共下水道整備・合併浄化槽を効率的に整備するとともに、地域住民・ボランティアによる清掃活動などの実施及びごみの減量化とリサイクルの促進を行うことにより、公共用水域の水質保全を図り、生活環境と自然環境を改善し、「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を創造する。										
事業の実施状況	公共下水道：東宇治処理区及び洛南処理区の一部（横鳥処理分区） 浄化槽（個人設置型）：宇治市全域（ただし、公共下水道事業認可区域を除く。）										
目標の達成状況	内容			従前値		計画値		実績値		事後評価	効果発現要因
				基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	（目標達成状況）		総合所見	
	目標1-1	計画期間内に汚水処理人口普及率を65.0%から79.2%に向上させる。	65%	H16	79.2%	H21	78.6%	H21		目標数値をわずかに下回る結果となった。	
	目標1-2	計画期間内に浄化槽（個人設置型）を270基設置する。	-	H16	270基	H21	150基	H21	×	目標が過大であった。	
	目標2	計画期間内に本市の中小河川（10河川）において、BODの年平均値を10mg/l以下を維持する。	6.7mg/l	H17	10mg/l	H21	4.9mg/l	H21		目標数値を達成できた。	
計画期間内に本市の中小河川（10河川）において、各河川のBOD年平均値を10mg/l以下にする。		9河川	H17	10河川	H21	10河川	H21		目標数値を達成できた。		
総合評価と今後の方針	地域再生計画に基づく事業の実施により、公共下水道汚水処理人口普及率については目標を概ね達成することができた。また、浄化槽の設置件数については、目標が過大であったため、計画を達成することができなかった。今後はさらに補助対象範囲が縮小されることとなるため、事業規模、目標を正確に把握・設定する必要がある。 中小河川のBOD測定については目標達成となっているが、測定時の降雨状況や河川水量により測定結果にばらつきが発生すると考えられるため、設定指標としては適さないと思われる。今後の方針としては、引き続き汚水処理施設整備交付金を活用し、効果的な整備により公共用水域の水質保全を図っていく。										